

鎌ヶ谷市 事務事業評価表（簡易評価表）

NO	会計	款	項目	施策	事務事業名	担当課	主要 施設 対象	うち 多 額の 経費 対象	①事務事業の概要 ②課題	29年度決 算額[千 円]	30年度決 算額[千 円]	総合評価	①評価の理由 ②令和元年度に取組む改革・改善内容	元年度予 算額[千 円]
1	一般	10	4	3	123芸術・文化の振興	きらり鎌ヶ谷市民会館の管理運営に要する経費	市民会館	○	①市民会館内の併設施設である、きらりホール、中央公民館、多文化共生推進センター、男女共同参画推進センター、市民活動推進センターの管理運営を行う。 ②来場者の安全を図るため、緊急時での市民会館内及びショッピングプラザ鎌ヶ谷との連絡体制のさらなる強化	114,081	115,509	6精査・検証	①来場者の安全を図るため、緊急時での市民会館内及びショッピングプラザ鎌ヶ谷との連絡体制をより強化する必要があるため。 ②避難訓練コンサートを継続して行うとともに、市民会館来場者の利便性を図るため、ロビーでWi-Fiが利用できるよう整備する。	116,205
2	一般	10	4	3	123芸術・文化の振興	きらりホールの管理運営に要する経費	市民会館	○	①きらりホールの管理運営を行う。 ②きらりホール主催事業での来場者が減少している。	46,846	44,050	5改善	①きらりホール主催事業の内容、実施時期、PR方法等見直していく必要があるため。 ②きらりホール主催事業の内容、実施時期、PR方法等を見直すとともに、事業の目的を、より効果的・効率的に達成するため、令和2年度からの指定管理者制度導入に向けて、指定管理者を募集・選定する。	47,887
3	一般	10	4	1	123芸術・文化の振興	文化財保護に要する経費	文化・スポーツ課	○	①文化財の指定・指定文化財の管理・埋蔵文化財発掘調査に係わる業務を行う。 ②埋蔵文化財保護事業は現状保存を目指しているが、開発を伴うため発掘調査等による記録保存を行う事が多い。文化財を未来に伝えていくための保護業務が必要である。	8,010	3,895	6精査・検証	①文化財保護事業は行政の責務であり、各種開発が本市でも行われていることから、継続して実施する必要がある。 ②市指定文化財のき損、滅失することのないよう所有者・管理者と連携を図りながら適正な管理をする。また、新指定文化財の周知を図ると共に新たな指定物件の検討を行う。	7,458
4	一般	10	4	1	123芸術・文化の振興	文化振興に要する経費	文化・スポーツ課	○	①芸術文化事業(市民文化祭、市民美術展覧会、芸術鑑賞教室等)の実施。 ②市民の多様な芸術趣向に応え、多くの市民が参加できる機会や、来場のきっかけを作っていくことが課題である。	1,681	1,876	7拡充	①芸術文化の発表および鑑賞の機会の提供は地域の芸術・文化意識の向上に必要であるため。 ②引き続きワークショップを実施し、芸術・文化活動への参加者の増加を図る。	1,971
5	一般	10	4	1	123芸術・文化の振興	民間開発による埋蔵文化財調査に要する経費	文化・スポーツ課	○	①本調査が必要と判断した事業地の取扱いについて、事業者と協議を行い、事業者の負担により本調査を実施する。 ②遺跡の現状保存を目指す、協議の結果、現状保存がこんなんとなった場合、発掘調査による記録保存を実施する。	0	2,097	6精査・検証	①民間開発に伴う事業者の費用負担による遺跡の記録保存に対応する業務のため、実施に備える必要がある。 ②外因的な要素に起因するが、案件が発生した際の迅速な対応。全額負担が困難な零細業者への県補助の活用。	2,803
6	一般	10	4	1	123芸術・文化の振興	国史跡下総小金中野牧跡保存整備事業	文化・スポーツ課	○	①国史跡下総小金中野牧跡の維持管理、周知普及および保存管理を実施する。 ②史跡地の更なる周知の裾野を広げることを目指して、事業展開していくこと、また、財政状況を見極めたうえでの活用のための史跡整備事業の実施の検討は必要である。	2,499	2,477	7拡充	①史跡地を保護活用し、周知普及事業の実施や、清掃管理を行い、史跡に対する市民意識の醸成を図ることが必要となるため。 ②国史跡の適正な管理を行うとともに、参加者が減っている周知イベントについて、参加の増加を図るための方策を検討し、更なる周知を図っていく。	2,800
7	一般	10	4	1	123芸術・文化の振興	埋蔵文化財緊急調査事業	文化・スポーツ課	○	①平成28年度に本調査を実施した一本松遺跡の出土資料を整理、分析し、発掘調査報告書を刊行する。 ②基礎整理作業の後、出土資料の図化業務、写真撮影等を行い、報告書作成のための図版、原稿作成を行う。	5,607	3,912	7拡充	①一本松遺跡の整理作業が進み、図版作成のため出土遺物実測委託をする必要があるため。 ②総量180箱(整理用コンテナ)の出土資料の中で、ある程度形が復元できる資料の復元作業を行い、状態が良いものについて図化を図る。	6,232
8	一般	10	4	6	123芸術・文化の振興	郷土資料館の管理運営に要する経費	文化・スポーツ課 郷土資料館	○	①郷土の歴史・民俗等に係る資料を収集・調査・研究・整理するとともに資料の展示及び各種の講座、教室等を開催する。 ②現状の施設を利用し、かつ、資料館ボランティアの協力なども得て、できるだけ合理的に事業を行いつつ、来場者向上のための工夫も求められる。	12,977	9,497	6精査・検証	①資料の調査・収集・保存・研究をおこなうとともに、その成果として展示、教育・普及事業などを行う必要があるため。 ②資料整理を継続して実施するとともに、資料化を図ったものが活用できるよう、環境の整備を行う。	13,003